

由起しげ子著作等目録〔第一稿〕

由起しげ子著作等一覧〔第一稿〕

本一覧は由起しげ子の著作等を、「雑誌記事索引」等の各種索引、目録類やインターネット上で公開されている「テレビドラマデータベース」「脚本データベース」等により検索し、得た情報を集成し、発表年次順に一覧したものである。本冊子掲載の「由起しげ子文庫」目録に基づく情報も含むが、同「目録」で「著者名」を不明とするもの等、本一覧には掲載を見合わせたものもある。収録対象は、著作、対談記事に加え、著作等の引用や由起しげ子自身の発言等を含む記事の一部とする。

尚、新聞記事、小冊子掲載の随筆等の短文については遺漏も多いと考えられ、今後の研究、調査に委ねる部分を残しているため「〔第一稿〕」として公にする。

(藏中さやか記)

凡例

- 一、各年次内は発表月順に配列し、発表月不明のものは各年次末尾に記載し、年次ごとに連番を付す。
発表年次が特定できないものは「年次未詳」として末尾に一括する。
- 一、「出版社」については、発表雑誌ごとに統一的に記し、社名変更等には対応していない。
- 一、作品・記事掲載紙誌名の表題は、原則として通行の字体に統一する。
- 一、連載記事は初回のみを掲げ、新聞連載の場合を除き「巻号数」の項に()で最終回の号数を示す。
あわせて「備考」に連載に関する情報を記載する。
- 一、「備考」には、①「」で作品の副題や目次の見出し等、対談(座談)者名、掲載書の編著者名等、②単行本化された場合は「→年」によりその刊行年、③脚本化、ラジオドラマ化、テレビドラマ化、映画化等がなされたことが確認できる場合はその情報、④その他必要な事柄、を適宜、記載する。
②は初回の単行本再録のみ記載し、以後の再録や再刊に関する情報は原則として割愛する。また、③は原則として、当該作品初出時の備考欄に一括記載する。
- 一、作品個別に、当館「由起しげ子文庫」内に、関連するメモ、草稿等が含まれているかどうかを記すことは略するが、脚本類についてはその所蔵状況を示す。尚、映画、ラジオドラマ、テレビドラマ等の台本類は特に区別せず一括して「脚本」とする。
- 一、各年次の末尾には「*」で「注」を立項する。「注」には、①補足事項等、②参考程度の記事に関する情報、を適宜、記載する。

以 上

番号	表題	出版社等	発表雑誌	巻号	頁	和暦年月(日)	備考
----	----	------	------	----	---	---------	----

●昭和21年(1946)

1	おぢいさんの靴屋	小学館	少国民の友	23・9	28～33	昭和21年12月	伊原しげ子。→昭和25年。日本文芸家協会編少年文学代表選集2(光文社、昭和26年)に再録。
---	----------	-----	-------	------	-------	----------	---

●昭和22年(1947)

1	雪に埋ったジープ	朝日新聞社	婦人朝日	2・2	51～53	昭和22年2月	伊原しげ子。→昭和25年。
2	ざくろの庭	朝日新聞社	婦人朝日	2・5	36～37	昭和22年5月	伊原しげ子。→昭和25年。
3	みつばち	新子供社	こどものまど	2	3	昭和22年5月	伊原しげ子。→昭和25年。

●昭和23年(1948)

1	みけとらとこいぬ	小学館	小学三年生	2・10	32～36	昭和23年1月	伊原しげ子。→昭和25年。
2	おともだち	小学館	小学三年生	3・1		昭和23年4月	伊原しげ子。→昭和25年。

●昭和24年(1949)

1	本の話	作品社	作品	3	27～95	昭和24年3月	→昭和24年。同年7月芥川賞受賞。
2	脱走	文化公論社	文学界	3・4	8～23	昭和24年6月	→昭和25年。『別冊八雲』1巻2号(昭和24年12月)に再録、ただし目次「脱走」、本文の表題「脱出」。
3	警視総監の笑い	文化公論社	文学界	3・7	8～34	昭和24年9月	→昭和25年。昭和35年4月10日百万人の劇場第2回としてテレビドラマ化、FNNにて放映、「百万人の劇場②警視総監の笑い 第一稿」脚本有り。
4	本の話	文芸春秋社				昭和24年10月	単行本化。「本の話」「警視総監の笑ひ」「脱走」収録。昭和29年角川文庫(「警視総監の笑い」「脱走」「本の話」「ある月夜の散歩」「厄介な女」収録)再刊。
5	女性の現実 結婚・しごと・家庭をめぐって	改造社	女性改造	4・10	50～57	昭和24年10月	大浜英子、荒木道子、常安田鶴子、鶴見和子との座談会。
6	誕生日	白象社	白象	1	80～83	昭和24年11月	「童話と少年小説」。→昭和25年。
7	訪問客	毎日新聞社	ニューエイジ	1・11	56	昭和24年11月	
8	わが読書遍歴	実業之日本社	新女苑	13・11	51～53	昭和24年11月	
9	愛にからむ三つの悲劇	婦人画報社	婦人画報	543	47～51	昭和24年12月	丹羽文雄、与謝野秀、八並達雄との座談会。

*「話題の人 由起しげ子」『毎日グラフ』第2年第21号通巻第33号(毎日新聞社 昭24年11月)記事有り。

*昭和24年12月5日付「読売新聞」に『警視総監の笑い』のモデルを巡る記事有り、由起しげ子の談話掲載。

●昭和25年(1950)

1	ある月夜の散歩	文芸春秋新社	文芸春秋	28・1	214～221	昭和25年1月	→昭和25年。
2	良人	日比谷出版社	文芸読物	9・1	72～83	昭和25年1月	→昭和25年。
3	少年院の子らと生活する記(多摩少年院を訪ねて)	主婦之友社	主婦之友	34・1	80～87	昭和25年1月	
4	わが道をゆく	婦人画報社	婦人画報	544	109～117	昭和25年1月	山口シズエ、杉村春子等も寄稿。
5	もちのカン詰	神戸新聞社	神戸新聞			昭和25年1月1日付	
6	厄介な女	目黒書店	人間	5・2	134～144	昭和25年2月	→昭和25年。
7	私の家の話	婦人画報社	婦人画報	545	126	昭和25年2月	グラフ。127頁は土門拳撮影「笹の鳴る家 由起しげ子さんの生活」。
8	春を告げる花	時事通信社				昭和25年3月	単行本化。「春を告げる花」「いなづま」「誕生日」「雨の日」「おともだち」「みけとらとこいぬ」「みつばち」「ざくろの庭」「木のぼり」「雪に埋ったジープ」「おじいさんの靴屋」「おくさんの砂(おらんだの話)」「煙突掃除人・ピエトロ(おらんだの話)」「粋な王様(アラビヤン・ナイト)」収録。
9	赤い部屋	文化公論社	文学界	4・3	60～79	昭和25年3月	
10	厄介な女	時事通信社				昭和25年4月	単行本化。「ある月夜の散歩」「厄介な女」「良人」「警視総監の笑ひ」「脱走」収録。
11	東京通信「バレエ」コッペリアを観て」	朝日新聞社	婦人朝日	5・4	70～73	昭和25年4月	

12	めだま	暮しの手帖社	美しい暮しの手帖	1・7	79～80	昭和25年4月	
13	由利子ちゃんの五人抜き	改造社	女性改造	5・4	81～85	昭和25年4月	
14	筆絶つべきや 上(下)	毎日新聞社	毎日新聞			昭和25年4月4日(15日)付夕刊	2回連載。
15	夫婦問題を語る 奥様作家の座談会	主婦之友社	主婦之友	34・5		昭和25年5月	平林たい子、芝木好子との座談会。
16	青い海の記憶	作品社	作品	5	40～55	昭和25年6月	
17	休息御随意	文藝春秋新社	文芸春秋	28・9	77～80	昭和25年6月	
18	バーグマンへ失望	新大阪新聞社	新大阪新聞			昭和25年7月14日付夕刊	
19	誤差	中央公論新社	中央公論	65・8	188～208	昭和25年8月	
20	リヴィエラの雪	六興出版社	小説公園	1・5	32～40	昭和25年8月	→昭和33年。
21	私の理論物理学研究	朝日新聞社	朝日評論	5・8-9	137～141	昭和25年8月	8・9月号。
22	「芥川賞の殺人」について①	毎日新聞社	毎日新聞			昭和25年9月11日付夕刊	①～終まで4回連載(9月11、12、13、14日)。
23	科学への欲求	毎日新聞社	サンデー毎日	29・37	40	昭和25年9月	
24	幸福な結婚の条件	婦人画報社	婦人画報	553	36～43	昭和25年10月	坂西志保、山本杉、藤原あきとの座談会。
25	突然変異	NHK交響楽団	フィルハーモニー	22・9	24～27	昭和25年10月	
26	国籍	新潮社	新潮	14・11	32～43	昭和25年11月	
27	解氷期	文化公論社	文学界	4・11	36～58	昭和25年11月	
28	雪とポインセチア	読売新聞社	読売評論	2・11	118～131	昭和25年11月	→昭和33年。
29	東京の旅	日本旅行倶楽部	旅	24・11	32～34	昭和25年11月	
30	生活のいろいろ(特写)	ヒマワリ社	それいゆ	15	37～44	昭和25年11月	水戸光子、杉村春子、黒沢明等と連名。
31	ルポルタージュ 人工授精室	婦人画報社	婦人画報	554	97～106	昭和25年11月	石垣純二、宮城音弥等も寄稿。
32	このごろの東京から	朝日新聞社	婦人朝日	5・12	38～45	昭和25年12月	佐藤美子、藤川栄子、城夏子との座談会。
33	地球串ざし論	目黒書店	人間	5・12	107～109	昭和25年12月	
34	抵抗なき演奏—ラザール・レヴィについて—	文化公論社	文学界	4・12	102～105	昭和25年12月	
35	北風の笛					昭和25年	児童向け脚本。脚本の原稿有り。昭和25年、朝日放送より連続放送。昭和33年9月『日本名作童話紙芝居全集6』(教育画劇)にて紙芝居化。

*『春を告げる花』に収録される「春を告げる花」「いなづま」「雨の日」「木のぼり」「おくさんの砂(おらんだの話)」「煙突掃除人・ビエトロ(おらんだの話)」「粋な王様(アラビヤン・ナイト)」は、昭和25年3月までに児童向け雑誌等に発表されたものか。

*「黒い眼と茶色い眼 人物点描 W. チャーチル、O. ブラッドレー、池田勇人、由起しげ子」『女性改造』5・3(改造社 昭和25年3月)に写真入りで記事有り。

*「わが鏡の記」『婦人朝日』5・11(朝日新聞社 昭和25年11月)に原信子、田中寿美子、水谷八重子、三岸節子と連名でグラビア記事有り。

●昭和26年(1951年)

1	「保健婦雑誌」に寄す	医学書院	保健婦雑誌	1・1	表紙2	昭和26年1月	
2	野性の母	文藝春秋新社	文芸春秋	29・1	22～24	昭和26年1月	
3	歴史の一齣	官庁会計実務通信講座編集部	明窓	1・10	94～101	昭和26年1月	小説。
4	コクリコ夫人	婦人画報社	婦人画報	556(～567)	132～138	昭和26年1～12月	同誌567(昭和26年12月)まで毎月連載。→昭和27年。
5	ろまんす屋大繁盛	新潮社	小説新潮	5・3	172～187	昭和26年2月	

6	手袋	河出書房	文芸	8・2	56～71	昭和26年2月	→昭和30年、同36年。『別冊文学の友』2(人民文学社、昭和29年7月)に再録。昭和36年12月19日テレビドラマ化、NNNで放映、同日付朝日新聞朝刊に紹介記事有り、同年12月17日付「高島屋バラ劇場 4つの恋の物語 第3話「手袋」改訂稿」脚本有り。「手袋の片っぽ」脚本2種有り。
7	男の魅力・女の秘密	文藝春秋新社	オール読物	6・2	277～283	昭和26年2月	田村秋子、原節子、笠置シズ子との座談会。
8	告別	文化公論社	文学界	5・3	48～67	昭和26年3月	1948年に書いた小説第1作を改めて発表。→昭和33年。
9	楽器の魅力 ピアノ ヴァイオリン サキソ フォン セロ フリュート	新潮社	芸術新潮	2・3	80～89	昭和26年3月	猪熊弦一郎、脇田和、芳賀檀、深尾須磨子と連名。
10	松の引越し	毎日新聞社	毎日新聞			昭和26年3月 10日付	
11	今日は留守です	文藝春秋新社	オール読物	6・4	96～113	昭和26年4月	→昭和30年。昭和35年12月17日グリーン劇場第12回としてテレビドラマ化、JNNで放映。
12	規格はずれ	日本規格協会	industrial standardiza- tion	4・4	107	昭和26年4月	
13	名演奏家クロイツ アー教授訪問記	読売新聞社	読売新聞			昭和26年4月 30日付	「ピアノのある部屋で」。
14	焚火	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	21	118～128	昭和26年5月	→昭和33年。
15	雨傘	毎日新聞社	ニューエイジ	3・5	67	昭和26年5月	「童話」。
16	騎士	日米通信社	ベストセラー	1・1	107	昭和26年5月	
17	金銭について	朝日新聞社	婦人朝日	6・6	32～34	昭和26年6月	「私のやりくり話(特集)」。
18	落第	改造社	改造	32・7	192～204	昭和26年6月	→昭和33年。
19	世界童話めぐり ふ しぎなかま	小学館	小学六年生	4・4	114	昭和26年7月	連載「魔法のかま(二)」同誌4・5。
20	見合ひ心得	新潮社	小説新潮	5・9	200～211	昭和26年7月	
21	世界童話めぐり 魔 法のかま(二)	小学館	小学六年生	4・5	108	昭和26年8月	連載「ふしぎなかま」同誌4・4。
22	私の小学校時代	社団法人新教育協会	6-3教室	5・8	44～45	昭和26年8月	
23	無名医	新潮社	新潮	5・10	176～197	昭和26年8月	
24	小杖家の流儀	文化公論社	文学界	5・9	89～101	昭和26年9月	
25	翳(かげり)	六興出版社	小説公園	2・9	24～37	昭和26年9月	→昭和33年。目次には「(かげり)」ナシ。
26	湖	講談社	群像	6・11	120～129	昭和26年11月	
27	薔薇	実業之日本社	新女苑	15・11	86～90	昭和26年11月	
28	創元音楽講座に寄 せて	Booksの会	Books	20	10～11	昭和26年11月	
29	女性豆自叙伝	朝日新聞社	家庭朝日	141	8	昭和26年11月 11日付	
30	人物鑑定	新潮社	小説新潮	5・15	130～139	昭和26年12月	→昭和30年。
31	指環の話	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	25	187～209	昭和26年12月	→昭和30年、昭和31年。
32	芸術よもやま話	朝日新聞社	婦人朝日	6・12	57～62	昭和26年12月	佐藤美子、藤川栄子との座談会。

*「ジュニア座談会 大いに語る著名婦人令息令嬢たち」(『婦人朝日』6・1 朝日新聞社 昭和26年1月)に「出席者 由起しげ子令息/伊原通夫君」と有り。

*「甘辛往来」(『あまカラ』4 甘辛社 昭和26年11月)に記事有り。

●昭和27年(1952)

1	長島愛生園を訪ね て	医学書院	保健婦雑誌	3・1	9～12	昭和27年1月	
---	---------------	------	-------	-----	------	---------	--

2	アブの出入りする家	六興出版社	小説公園	3・1	88～103	昭和27年1月	→昭和33年。
3	瑠璃色の海	実業之日本社	少女の友	45・1	80	昭和27年1月	同誌45・2(昭和27年2月)、45・3(同年3月)に連載。→昭和30年。
4	コクリコ夫人	早川書房				昭和27年1月	「不思議な求婚者」「藍子」「早春の日」「旅の記憶」「ある夜の対話」「海の火」「二つの道」「箱根」「積乱雲」「暗い門」「縫ぐるみの熊」「秋の霧」収録。昭和30年9月河出書房より再刊。
5	私の二十の頃	誠文堂新光社	二十代		147	昭和27年1月	誠文堂新光社編。小泉信三他、全45篇。
6	序	長島愛生園慰安会	廃園の灯			昭和27年1月	長島創作会編。光田健輔先生文化勲章授勲祝賀長島創作会第二作品集。全4頁。
7	彼女の独立戦争	太陽出版	小説朝日	2・3	70～86	昭和27年3月	
8	二枚のきものの思い出	文化出版局	装苑	7・3	38	昭和27年3月	
9	(ママ) マルゲリット・ロン夫人の思ひ出	音楽之友社	レコード芸術	1・1	54～55	昭和27年3月	
10	ある貞節	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	27	194～201	昭和27年4月	
11	連載訪問記(1) 私の印象	婦人画報社	婦人画報	571	130～133	昭和27年4月	
12	仲人とモーニング危険物					昭和27年5月29日放送	脚本。武井つたひと連名。
13	岡本太郎さんを訪ねて	婦人画報社	婦人画報	573	149～153	昭和27年6月	
14	さびしい航海	六興出版社	小説公園	3・7	32～46	昭和27年7月	
15	空しさに於て	文化公論社	文学界	6・8	72～79	昭和27年8月	
16	消えない微笑—前進座と河原崎長十郎氏	婦人画報社	婦人画報	576	98～103	昭和27年9月	
17	来朝するアルフレット・コルトーの面影	レコード音楽社	レコード音楽	22・9	28～37	昭和27年9月	宅孝二、松本太郎、藁科雅美との座談会。
18	ふしぎな食事	NHK交響楽団	フィルハーモニー	24・8	38～39	昭和27年9月	
19	壺に寄せて	婦女界出版社	婦女界	1・7	120～129	昭和27年10月	
20	ぼらの木	学習研究社	6年の学習	7・8	36	昭和27年11月	「美しい話」。
21	随想 黒いバナナ	山陽新聞社	山陽新聞			昭和27年11月2日付	
22	たこ風船 子供がくれた紹介状					昭和27年11月4日放送	脚本。岩佐東一郎と連名。
23	北上川—電源開発とダム犠牲者	婦人画報社	婦人画報	579	123～129	昭和27年12月	
24	平林たい子	講談社	群像	7・12	154～155	昭和27年12月	
25	明るいベッド ポケットの南京豆					昭和27年	脚本。

*「甘辛往来」(『あまカラ』12(甘辛社 昭和27年8月)、「時計と賞金」(『別冊文芸春秋』30(文芸春秋新社 昭和27年10月)、「甘辛往来」(『あまカラ』16(甘辛社 昭和27年12月)に記事有り。

*「[アンケート] 貴方が書き止めると貴方及び周囲の人々は何を失うか 新らしい文学運動及び新人に何を期待するか」『希望—エスポワール』1(昭和27年1月)に記事有り。

●昭和28年(1953)

1	霰	文化公論社	文学界	7・1	39～49	昭和28年1月	
2	大事な人	六興出版社	小説公園	4・1	52～67	昭和28年1月	→昭和35年。
3	私の好きな演奏家	音楽之友社	音楽之友	11・1	55	昭和28年1月	
4	「幸福」といふ言葉	中央公論新社	婦人公論	37・1	147～149	昭和28年1月	
5	幻想	松竹株式会社事業部	二月興行大歌舞伎		4～5	昭和28年1月	歌舞伎座パンフレット。平林たい子、吉屋信子も寄稿。

6	1953年の生活設計	読売新聞社	読売新聞			昭和28年1月7日付朝刊	
7	夕すげ	講談社	群像	8・2	30～49	昭和28年2月	→昭和31年。
8	音楽よもやま話 由起しげ子	音楽之友社	音楽之友	11・3	18～27	昭和28年3月	「訊く人・野村光一」。野村光一編『音楽新書 音楽を語る第1』(音楽之友社 昭和30年)に「由起しげ子と語る」として再録。
9	音楽家は発見者	音楽之友社	教育音楽	9・3	137～139	昭和28年3月	
10	淀殿	中央公論新社	婦人公論	37・7	235～247	昭和28年6月	「物語人物女性史第6回」。資料提供は高柳光寿、鈴木良一、松島栄一。松島栄一編『女の歴史』(河出書房 昭和30年)に再録。
11	冬の樹	文化公論社	文学界	7・8	36～47	昭和28年8月	→昭和31年。
12	身上相談	六興出版社	小説公園	4・10	188～197	昭和28年10月	
13	母の社会科	新潮社	小説新潮	7・13	62～74	昭和28年10月	→昭和30年。昭和29年2月公開「伊津子とその母」、東宝。初代水谷八重子、有馬稲子出演、脚本有り。昭和34年6月5日サンヨーテレビ劇場として同名でテレビドラマ化、JNNで放映、「準備稿」「改訂稿」脚本有り。昭和34年9月12日「伊都子の結婚」テレビドラマ化、ANNで放映(同年9月16日再放送)、同日付朝日新聞に紹介記事有り。同月4日付脚本有り。昭和36年12月12日シャープ火曜劇場第16回「伊津子とその母」テレビドラマ化、FNNで放映、「シャープ火曜劇場第16回伊津子とその母決定稿」脚本有り。昭和39年5月10日日本映画名作ドラマとして「伊都子の結婚」テレビドラマ化、ANNで放映。

* 昭和28年10月23日制定の新潟県湯沢町立湯沢小学校校歌を作曲。作詞は室生犀星。同年7月16日付の由起しげ子から南雲校長宛の書簡有り。
* 『朝日グラフ』(朝日新聞社 昭和28年12月9日)「愛煙女性告知板」に記事有り。

●昭和29年(1954)

1	花びら	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	38	31～41	昭和29年2月	
2	母子結縁	新潮社	小説新潮	8・7	20～37	昭和29年5月	→昭和30年。昭和30年10月26日「母の園—母子結縁より—(母子群像)」としてテレビドラマ化、NHKで放映。
3	オペラ「黒船を見る」	朝日新聞社	週刊朝日	59・24	72	昭和29年6月	6月6日号。
4	随筆	医学書院	看護学雑誌	15・6	22～25	昭和29年6月	
5	文学者の危機	文化公論社	文学界	8・6	80～83	昭和29年6月	
6	私の読書遍歴	日本出版協会	日本読書新聞	750	2	昭和29年6月14日付	
7	待ちぼうけの幸福	文藝春秋新社	オール読物	9・7	214～225	昭和29年7月	
8	雨季	新潮社	小説新潮	8・11	78～88	昭和29年8月	→昭和30年。放送日昭和35年9月25日とする脚本「じゃんけんぼん 決定稿」有り。
9	私のおすすめしたい本	日本読書会	読書	4	6～7	昭和29年8月	
10	犬と火山	新潮社	小説新潮	8・14	134～141	昭和29年10月	→昭和31年。
11	雨だれ	新潮社	別冊小説新潮	8・14	228～239	昭和29年10月	→昭和30年。昭和36年12月10日付「人生の四季 画廊の女 第一稿」脚本有り。
12	罪深い石	六興出版社	小説公園	5・9	88～106	昭和29年11月	
13	松川事件の真実のために 松川事件について	新女性社	新女性	46	88～90	昭和29年11月	
14	女中ッ子	新潮社	小説新潮	8・16	268～286	昭和29年12月	→昭和30年。昭和30年6月公開『女中ッ子』日活、左幸子出演、脚本有り。昭和36年2月1日日立劇場としてテレビドラマ化、JNNで放映。昭和37年2月20日シャープ火曜劇場第26回としてテレビドラマ化、FNNで放映、「シャープ火曜劇場第25回女中ッ子」脚本有り。同日付「読売新聞」に紹介記事有り。昭和38年11月17日日本映画名作ドラマとしてテレビドラマ化、ANNで放映。昭和43年5月5日 東芝日曜劇場第595回としてテレビドラマ化(昭和44年1月19日に再放送)、昭和48年1月6日から少年ドラマシリーズ4回『はつさんハイ!』としてテレビドラマ化、NHKにて放映。「連続ドラマ 女中ッ子」第2・4・5回脚本有り。昭和51年再映画化『どんぐりッ子』森昌子、長門裕之出演。

15	春へ	労働文化社	労働文化	5・12	26	昭和29年12月	「短篇小説」。
*「人物双曲線」『家庭よみうり』400(読売新聞社 昭和29年11月)に武谷三男(文)、榎本修(写真)でグラビアによる由起しげ子の紹介記事有り。							
●昭和30年(1955)							
1	ルリ色の海	同和春秋社	昭和少年少女文学選集7			昭和30年1月	単行本化。挿絵伊原通夫。
2	ある時の人	実業之日本社	新女苑	19・1	244～251	昭和30年1月	
3	風の女	新潮社	別冊小説新潮	9・2	250～259	昭和30年1月	
4	声	日本放送協会	放送文化	10・1	54	昭和30年1月	
5	あゝのころ	日本経済新聞社	日経新聞			昭和30年1月10日付	
6	大阪弁	暮らしの手帖社	暮らしの手帖	1・28	126～127	昭和30年2月	
7	“この1票”にくいなきよう 公約にだまされるな	読売新聞社	読売新聞			昭和30年2月25日付朝刊	
8	海に行った人	六興出版社	小説公園	6・5	22～39	昭和30年5月	昭和35年5月29日付の脚本有り。
9	この道の果に	新潮社	小説新潮	9・5	98～116	昭和30年5月	→昭和30年。昭和37年1月12日文芸劇場(第15回)としてテレビドラマ化、NHKで放映、梗概、「文芸劇場由起しげ子作この道の果に」検討稿有り。
10	女中ツ子・この道の果に	新潮社	小説文庫			昭和30年5月	単行本化。「女中ツ子」「雨だれ」「雨季」「母子結縁」「母の社会科」「この道の果に」収録。
11	この門を過ぎて	講談社	群像	10・5	2～18	昭和30年5月	→昭和31年。
12	実験茶会 茶会への招待	淡交社	淡交	9・5	36～63	昭和30年5月	岡本太郎邸で開催された茶会に関する記事。由起しげ子は客の一人で芥川也寸志夫妻、北大路魯山人等も出席。各自の発言、記載有り。
13	科学者の心配	丸善	学燈	52・5	12～14	昭和30年5月	
14	女流ふるさと紀行～大阪	主婦之友社	主婦之友	39・6		昭和30年6月	
15	語らざる人	新潮社	小説新潮	9・9	248～268	昭和30年7月	→昭和30年。
16	雨靴	実業之日本社	新女苑	19・7	162～175	昭和30年7月	
17	作家の日記	新潮社	小説新潮	9・11	63	昭和30年8月	
18	まちがい	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	47	82～91	昭和30年8月	
19	「立入禁止」	新潮社	小説新潮	82・8	158～168	昭和30年8月	→昭和33年。
20	夏休の思い出	文化出版局	装苑	10・8	71～78	昭和30年8月	田中千代、杉村春子、野口益栄、中原淳一も寄稿。
21	郷愁	医学書院	ナーズの教養のために		101	昭和30年8月	医学書院編集部編「ナーセス・ライブラリ」。
22	女性の愛情	宝文館	青年期の探求		115～120	昭和30年8月	日本放送協会編。
23	奇妙な道楽 素人の原子物理研究	産業経済新聞社	産経新聞			昭和30年8月31日付	
24	感傷旅行	新潮社	小説新潮	9・12	104～115	昭和30年9月	
25	磐梯高原の熊	日本旅行倶楽部	旅	29・9	44～46	昭和30年9月	『現代紀行文学全集1(北日本篇)』(修道社 昭和33年)に再録。
26	隅田川さんぽ	岩波書店	世界	117	156～160	昭和30年9月	
27	ひとりだけの部屋	実業之日本社	新女苑	19・10	48～56	昭和30年10月	
28	小田切秀雄編 原子力と文学	講談社	群像	10・10	177	昭和30年10月	書評。
29	黒い鳥	新潮社	新潮	52・10	176～194	昭和30年10月	
30	たゞの家	文化公論社	文学界	9・11	8～21	昭和30年11月	

31	語らざる人	講談社	講談社ミリオン・ブックス			昭和30年11月	単行本化。「語らざる人」「手袋」「指環の話」「今日は留守です」「人物鑑定」解説収録。
32	赤い霧	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	49	161～177	昭和30年12月	
33	無知の姿の悲劇	キネマ旬報社	キネマ旬報	133・948	50～51	昭和30年12月	「生きものの記録 特集批評」。

*「某月某日」『新聞月鑑』7・73(新聞月鑑社 昭和30年2月)に記事有り。

●昭和31年(1956)

1	買手たち	河出書房	文芸読物	13・1	117～133	昭和31年1月	→昭和31年。
2	波と砂	音楽之友社	音楽之友	14・1	106～111	昭和31年1月	「音楽短編読物」。
3	未知からの誘い	スタイル社	スタイル	19・1 (～19・12)	188～198	昭和31年1月	同誌19・12(昭和31年12月)まで毎号連載。→昭和31年。昭和35年4月5日、同月12日「サンウエーブ火曜劇場」としてテレビドラマ化、FNN系列で放映、「未知からの誘い(後篇)」脚本有り。
4	ピアノに寄せて	河出書房	若き日の音楽		80	昭和31年1月	吉田秀和編。河出新書。
5	若い火	河出書房				昭和31年2月	「赤い部屋」「青い海の記憶」「援護者たち」「樹蔭」「この門を過ぎて」「悲しみの街」収録。
6	雨の日の客	朝日新聞社	週刊朝日別冊	12	50～56	昭和31年2月	→昭和33年。
7	青春の職場会議 松下電器・第四事業部を訪ねて	講談社	婦人倶楽部	37・2	274～278	昭和31年2月	女性従業員6名との座談会。司会、由起しげ子。目次は「青春の職場会議(松下電器訪問)」。
8	親愛感をもって	毎日新聞社	毎日新聞			昭和31年2月7日付	
9	婦人娯楽	毎日新聞社	毎日新聞			昭和31年2月21日付夕刊	
10	東南アジア便り ニューデリー	毎日新聞社	毎日新聞			昭和31年2月25日付夕刊	
11	新旧2つのインド 東南アから帰って	読売新聞社	読売新聞			昭和31年3月19日付	
12	今日のいのち	読売新聞社	読売新聞			昭和31年3月～8月	読売新聞(夕刊)連載、全155回。→昭和31年。昭和32年6月公開、日活、沢村勉脚色、北原三枝、津川雅彦出演。「今日のいのち 準備稿」「今日のいのち」脚本有り。昭和32年シナリオ刊行(由起しげ子原作 沢村勉・田坂具隆脚色 映画タイムス社)。昭和44年6月23日から銀河ドラマ全10回としてテレビドラマ化、NHKにて放映。
13	音楽の感動 音楽のたのしみ	知性社	知性	3・4	198～203	昭和31年4月	吉田秀和と連名。
14	幻想交響曲	音楽之友社	音楽之友	14・4	154～159	昭和31年4月	「名曲小説」。
15	夕すげ	現代社				昭和31年6月	単行本化。装幀伊原通夫。「犬と火山」「冬の樹」「夕すげ」「漂泊」「空しさにおいて」「買手たち」「指環の話」あとがき収録。
16	私の註文帖 宿屋へ	婦人之友社	婦人之友	50・7	47～50	昭和31年7月	多数とともに掲載。
17	日本人の無関心	講談社	婦人倶楽部	37・8	85	昭和31年8月	「巻頭のことば」。
18	今日のいのち	現代社				昭和31年10月	単行本化。装幀伊原通夫。昭和32年、同44年に講談社ロマン・ブックス刊。
19	私はカメラマン	六興出版社	小説公園	7・10	16～17	昭和31年10月	グラビアページ。
20	美しいポーリー	講談社	世界名作全集147			昭和31年10月	オルコット原作の翻訳。
21	小さな旅	婦人之友社	婦人之友	50・12	128～135	昭和31年12月	
22	十月十三日	岩波書店	世界	132	163～165	昭和31年12月	
23	未知からの誘い	現代社				昭和31年12月	単行本化。「未知からの誘い」のみ収録。
24	序	虎書房	異郷の女		3～4	昭和31年12月	村松喬著書の序文。井上靖も序文執筆。
25	使えない原稿用紙	綜合店舗研究所	てんぼ	1	37～38	昭和31年12月	書店文房具店編。

*「びいぶる」(『芸術新潮』7・3 昭和31年3月)に記事有り。

●昭和32年(1957)

1	生きる場所	新潮社	小説新潮	11・1	292～315	昭和32年1月	→昭和33年。「女の劇場 生きる場所」とする脚本有り。
2	居候の話	文藝春秋新社	オール読物	12・1	102～117	昭和32年1月	
3	結婚と離婚	産業経済新聞社	随筆サンケイ	4・2	93～94	昭和32年2月	
4	思春期の疑問を解く 3つの違った立場からの本	読売新聞社	読売新聞			昭和32年2月2月13日付夕刊	書評。
5	黄色いカラス						昭和32年2月公開の五所平之助監督作品映画の脚本の台詞部分に協力、脚本(仮題「失われた少年」を含む)3種有り。昭和31年12月21日付読売新聞夕刊に関連記事有り。
6	女性のための読書論	角川書店	現代教養講座 4 読書のすすめ		51～63	昭和32年3月	桶谷繁雄等編。
7	小説の秘密・作家の秘密 一代表作家二十人の座談会	読売新聞社	週刊読売	16・11	11	昭和32年3月	伊藤整、石川達三等との座談会。
8	東南アジア現地旅行	労働文化社	労働文化	8・3		4 昭和32年3月	高見順、藤田藤雄、久門英夫との座談会。
9	かくれ山の少年たち	学習研究社	6年の学習	12・1 (～12・11)	34	昭和32年4月	「少年少女小説」。同誌12・11(昭和33年2月)まで毎号連載。
10	挿話	講談社	群像	12・5	60～73	昭和32年5月	
11	ヒマワリさん	信濃毎日新聞社	信濃毎日新聞			連載第1回は昭和32年5月17日付	連載。→昭和33年。昭和37年6月17日NHK土曜劇場「ひまわりさん」として放映、「ヒマワリさん 第一稿」脚本有り。昭和40年8月公開「明日は咲こう花咲こう」、日活、吉永小百合、中尾彬出演、「明日は咲こう花咲こう 未定稿」有り。
12	私の住所	産業経済新聞社	産経新聞			昭和32年5月28日付	
13	挽歌	キネマ旬報社	キネマ旬報	177・992	131～152	昭和32年6月	脚本。原田康子の小説を八住利雄と共同脚色。昭和32年9月公開、松竹、久我美子、高峰三枝子出演。VHSあり(松竹ビデオ事業部)。梗概、「挽歌 未定稿」脚本有り。
14	親子対談 自主性について	東京新聞社	東京新聞			昭和32年6月19日付	息子・吉春、娘・由利子との対談。
15	久美ちゃんの記録 愛と死と祈り	講談社	婦人倶楽部	38・8	92～99	昭和32年8月	
16	武谷三男氏の『原水爆実験』を読んで	岩波書店	図書	96	26～27	昭和32年9月	
17	豆自伝 音楽から文学へ	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	60	221	昭和32年10月	
18	下界の人たち	文化公論社	文学界	11・10	109～117	昭和32年10月	
19	夜となく昼となく	文藝春秋新社	オール読物	12・10	266～280	昭和32年10月	
20	山の保健婦さんを訪ねて	中央公論新社	婦人公論	42・11	121～126/129～133	昭和32年11月	121～126はグラビアページ。
21	矢車草	講談社	群像	12・12	51～67	昭和32年12月	→昭和34年。
22	特号夫人	新潮社	小説新潮	11・16	236～259	昭和32年12月	→昭和33年。

*「某月某日」(『小説新潮』11・4 昭和32年3月)に記事有り。

●昭和33年(1958)

1	特殊部落 ルポルタージュ	中央公論新社	婦人公論	43・2	97～103	昭和33年2月	
2	若き世代のなやみ 一附記 天城山心中 についての母親の感想	婦人之友社	婦人之友	52・2	30～40	昭和33年2月	植村環、大塚久雄、島崎敏樹との座談会。

3	クロちゃん	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	62	133～147	昭和33年2月	→昭和35年。
4	死の贈物	新潮社	週刊新潮	3・5	52～57	昭和33年2月	
5	愛情の花咲く樹	新映画	映画評論	15・3	68	昭和33年3月	
6	コブシの花	小学館	小学三年生	13・1	82	昭和33年4月	「教養読み物」。
7	秘密	六興出版社	小説公園	(臨時増刊・巻号ナシ) 1958年4月号	50～70	昭和33年4月	→昭和33年、同35年。昭和36年3月7日放送「佳子の秘密」脚本有り。昭和38年10月11日文芸劇場第90回としてテレビドラマ化、NHKで放映、「文芸劇場 秘密」脚本有り。
8	カバレフスキーの子供のためのピアノ曲	ハルモニア出版部	プレイバック	5・5	26	昭和33年5月	
9	リコのお使い	小学館	小学三年生	13・2	82	昭和33年5月	「教養読み物」。
10	生きる場所	講談社	ロマン・ブックス			昭和33年5月	単行本化。「生きる場所」「リヴィエラの雪」「霧(かげり)」「アブの出入りする家」「落第」「焚き火」「雪とポインセチア」「告別」「立入禁止」(目次は「」なし、本文表題は「」付き)収録。
11	女が生きて時	文藝春秋新社	オール読物	13・6	250～269	昭和33年6月	→昭和33年。
12	試験別居	主婦之友社	主婦之友	42・3	168～178	昭和33年6月	→昭和33年。昭和34年2月公開「女ごころ」、東宝、原節子主演、表題「秘めごと」とする脚本有り。表題「美しき争い」とし「試験別居」よりとする脚本も有り。
13	処女出版 私の最初の本	講談社	群像	13・6	247	昭和33年6月	
14	わが友	東京新聞社	東京新聞			昭和33年6月27日付夕刊	
15	会わぬ人	新潮社	小説新潮	12・9	180～203	昭和33年7月	→昭和35年。昭和36年2月19日東レサンデーステージ第34回としてテレビドラマ化、NNNで放映、「東レ サンデーステージ 会わぬ人 決定稿」脚本有り。「読売新聞」同日付に紹介記事有り。
16	ヒマワリさん	講談社	ロマン・ブックス			昭和33年10月	単行本化。「ヒマワリさん」のみ収録。
17	暴力警官と市民	集英社	週刊明星	1・11	7	昭和33年10月	「二つの椅子」。秋山康政と対談。
18	話し方の技術	PHP研究所	PHP	126		昭和33年10月	
19	口絵写真 取材紀行	新潮社	小説新潮	12・15	143～146	昭和33年11月	
20	怒りの夜	新潮社	小説新潮	12・15	147～172	昭和33年11月	→昭和34年。
21	演劇「血の花」	新潮社	芸術新潮	9・11	118～119	昭和33年11月	
22	女ごころ	文芸評論新社				昭和33年12月	単行本化。「女ごころ」「試験別居」「雨の日の客」「奪えぬひと」「特号夫人」「女が生きたとき」「誕生日の贈物」「秘密」収録。
23	にげたおサル	小学館	小学三年生	13・10	178	昭和33年12月	「文芸童話」。
24	山代巴さん	日本共産党中央委員会	アカハタ	12月8日号		昭和33年12月	回想。
25	愚問賢答	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	67	269	昭和33年12月	梅崎春生と連名。

*「某月某日」『小説新潮』11・4(新潮社 昭和32年3月)、「東宝映画「女ごころ」から 晩秋の伊豆海岸 原節子・由起しげ子」(グラビア・白黒ページ)『週刊女性』12月21日号(主婦と生活社 昭和32年12月)に記事有り。

●昭和34年(1959)

1	家庭や社会ではさし迫らないうちの話し合いを	婦人之友社	婦人之友	53・1	39～41	昭和34年1月	「話し合える社会に」近づこう。
2	ひっこしま	日本郵政公社広報部門広報部	郵政 新春増大号	11・1	42～43	昭和34年1月	
3	これぐらいの結婚	講談社	群像	14・2	76～107	昭和34年2月	
4	漁火	新潮社	小説新潮	13・3	158～184	昭和34年2月	→昭和35年。
5	映画紹介	労働文化社	労働文化	10・2	33	昭和34年2月	田中澄江、丸山誠治、小泉福造と連名。

6	最後の切札	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	68	178～ 194	昭和34年3月	→昭和34年。
7	奪えぬひと	主婦之友社	主婦之友	43・3	138～ 148	昭和34年3月	→昭和33年。
8	淡き少女の頃の思い出	中央公論新社	婦人公論	44・5	108～ 111	昭和34年4月	
9	女の中の悪魔	新潮社	小説新潮	13・7	90～ 135	昭和34年5月	→昭和34年。昭和36年4月29日から3回にわたりドラマシリーズ「おんな」としてテレビドラマ化、FNNで放映、第1回・最終回の脚本有り。昭和36年12月27日女の劇場としてテレビドラマ化、JNNで放映。昭和42年11月2日ナショナルゴールデン劇場第13回としてテレビドラマ化、ANNで放映。昭和57年7月17日ザ・サスペンスでテレビドラマ化、JNNで放映、「女の中の悪魔 決定稿」(TBS放送台本)とする脚本有り。昭和62年9月21日女優競演サスペンスでテレビドラマ化、FNNで放映。『月刊ドラマ』同年9月号(映人社)に紹介記事有り。「女の中の悪魔 第一稿」(関西テレビ放送台本)とする脚本有り。
10	女の中の悪魔	新潮社				昭和34年5月	単行本化。「女の中の悪魔」「怒りの夜」「最後の切札」「矢車草」収録。
11	猫のハリスト	集英社	週刊明星	2・18	8	昭和34年5月	「随筆」。
12	白衣の天使に翼を与えよ	中央公論新社	婦人公論	44・6	114～ 118	昭和34年5月	
13	私の言葉	新潮社	週刊新潮	4・22	9	昭和34年6月	女中についての問答。写真掲載。
14	夢違い	文化公論社	文学界	13・7	36～65	昭和34年7月	→昭和35年。「女のドラマシリーズ(1) 夢違い(1～2)」「同(3～6)」とする脚本有り。
15	雲助タクシーを追跡する	中央公論新社	婦人公論	44・9	155～ 159	昭和34年7月	
16	接ぎ木の枝—文学自伝	講談社	群像	14・8	184～ 189	昭和34年8月	
17	テープレコーダもたのし	松下電器産業株式会社	くらしの泉	23	3	昭和34年8月	
18	夜の旅人たち—死を以てまで貫こうとした愛—だが、それは白日に消える暗い夜の幻影か？	新潮社	小説新潮	13・12	218～ 249	昭和34年9月	
19	契約結婚	婦人画報社	婦人画報	663	257～ 276	昭和34年10月	→昭和35年。昭和35年4月15日サンヨーテレビ劇場としてテレビドラマ化、JNNで放映、「サンヨーテレビ劇場第117回 決定稿」脚本有り。不明年1月14日ガス・グランド劇場としてもテレビドラマ化、脚本有り。
20	シヨパンとマリー・キュリー	英宝社	子どもに聞かせたいとおきの話	4	254	昭和34年10月	阿部知二、国分一太郎編。
21	コンちゃんクロちゃん	自動車工業振興会	自動車ガイドブック 1959-1960年版	6	209	昭和34年10月	
22	病人の経験から	市川市病院協会	いちかわ	3	12	昭和34年10月	市川市病院協会報。
23	原稿用紙とペン	文化公論社	文学界	13・11	188～ 189	昭和34年11月	
24	福岡と私	泰光堂	少年少女文学風土記 ふるさとを訪ねて 福岡	6	196～ 197	昭和34年11月	火野葦平編。
25	新しい女中さん	扶桑社	週刊サンケイ	8・51	16	昭和34年11月	
26	モイセイエフ舞踊団の公演をみて	福音館書店	子どものしあわせ 母と教師を結ぶ雑誌	44	4～5	昭和34年11月	日本子どもを守る会編。「11月のことば」。
27	本を読む母親たち	岩波書店	文学	27・11	82～83	昭和34年11月	「文学の窓」。
28	痛い男	読売新聞社	読売新聞			昭和34年11月1日付朝刊	→昭和35年。
29	秋風と犬					昭和34年11月17日放送	ニッポン放送ラジオ芸術劇場脚本。脚本有り。11月16日付朝日新聞朝刊に紹介記事有り。
30	女よ、悪魔になれ	中央公論新社	婦人公論	44・15	303～ 307	昭和34年12月	

31	今年の歩みをかえりみて	婦人之友社	婦人之友	53・12	24～33	昭和34年12月	宮沢俊義、森恭三、松岡洋子、池辺陽との座談会。
----	-------------	-------	------	-------	-------	----------	-------------------------

*「精神病院をどう思うか(アンケート)」「精神病院」8(日本精神病院協会 昭和34年5月)、「某月某日」「小説新潮」13・8(新潮社 昭和34年6月)に記事有り。

*「グラビア わが家のカミナリ族(三宅艶子・由起しげ子・大岡昇平・檜橋渡)」「婦人公論」44・15(中央公論新社 昭和34年12月)に記事有り。

●昭和35年(1960)

1	やさしい良人	文藝春秋新社	文学界	14・1	85～107	昭和35年1月	→昭和38年。
2	忘れ得ぬ正月	新潮社	小説新潮	14・2	87	昭和35年1月	室生犀星、田村泰次郎、平林たい子等と連名。
3	男ともだち	新潮社	小説新潮	14・3	24～55	昭和35年2月	→昭和35年。
4	契約結婚	新潮社				昭和35年2月	単行本化。「会わぬ人」「夜の旅人たち」「契約結婚」「男ともだち」「クロちゃん」収録。
5	痺れる予感	講談社	群像	15・2	126～142	昭和35年2月	→昭和35年。
6	いたずら	主婦と生活社	週刊女性自身	3・11	78～82	昭和35年3月	
7	わが背信	文藝春秋新社	オール読物	15・4	294～327	昭和35年4月	→昭和35年。
8	鳴動する黒い火山・三井三池	中央公論新社	婦人公論	45・4	144～151	昭和35年4月	「ルポルタージュ 二つの焦点」。
9	危険保障条約	文化公論社	文学界	14・5	156～157	昭和35年5月	「わたしの発言」。時評。
10	ある殺意	早川書房	別冊クイーンマガジン	2・2	87	昭和35年5月	ラジオ東京でラジオドラマ化。同年7月3日付「スリラー劇場 ある殺意」脚本有り。
11	悲惨な大牟田三池の様相	毎日新聞社	毎日新聞			昭和35年5月14日付	ルポルタージュ。
12	ふたたび三井・三池のヤマに立ちて	中央公論新社	婦人公論	45・7	210～217	昭和35年6月	
13	ある女子学生の死	毎日新聞社	毎日新聞			昭和35年6月20日付	同月18日の樺美智子合同慰霊祭参列に関連して。
14	夢違い	光文社				昭和35年7月	単行本化。「漁火」「夢違い」「大事な人」「痺れる予感」「わが背信」収録。
15	交友断片 子供の友人と混線	講談社	群像	15・7	189	昭和35年7月	
16	雨をもつ季節―愛と信じたものは幻影か? 廻り道を経た今漸く掴んだ真実と云うもの	新潮社	小説新潮	14・9	188～209	昭和35年7月	→昭和35年。昭和41年8月14日東芝日曜劇場第506回「ゆうだち 雨をもつ季節」としてテレビドラマ化、JNNで放映、「東芝日曜劇場 ゆうだち」脚本有り。
17	『炭鉱に生きる』を読んで	岩波書店	図書	130	28～29	昭和35年7月	同年4～5月三池炭鉱視察。
18	職場の娘たち第1話 わたしはCMガール	平凡出版	平凡	16・8(～18・1)	178	昭和35年8月	同誌18・1(昭和37年1月)第18話まで毎号連載。各回の副題は各年次の欄外注*に記す。
19	赤坂の姉妹	新潮社	小説新潮	14・12	228～262	昭和35年9月	→昭和35年。昭和35年9月公開「赤坂の姉妹より 夜の肌」、東宝、淡島千景、新珠三千代出演、「赤坂の姉妹」脚本有り。昭和41年5月1日東芝日曜劇場第491回「誰にもわからない」としてテレビドラマ化、JNNで放映。
20	芥川賞のあとさき	文化公論社	文学界	14・9	8～17	昭和35年9月	安岡章太郎、石原慎太郎と対談。
21	身体障害者たちの青春	小学館	マドモアゼル	1・10	136～141	昭和35年10月	
22	一年の間に	講談社	群像	15・10	82～98	昭和35年10月	→昭和35年。昭和36年11月2日テレビドラマ化、NNNで放映、昭和36年10月24日付読売新聞夕刊に紹介記事有り。同年10月5日付の準備稿、脚本有り。
23	赤坂の姉妹	新潮社				昭和35年10月	単行本化。「赤坂の姉妹」「雨をもつ季節」「秘密」「痛い男」「一年の間に」収録。
24	船の上で	文化公論社	文学界	14・11	6～31	昭和35年11月	→昭和38年。
25	話題紀行―ウランブームの人形峠	主婦之友社	主婦之友	44・11		昭和35年11月	

26	夜の白い花					昭和35年11月29日放送(ニッポン放送ラジオ劇場)	ラジオドラマ脚本。昭和35年11月26日付朝日新聞朝刊に紹介記事有り。脚本の原稿有り。ラジオ・ドラマ審査会(記者会投票)10-11月民放1位。
27	古き都に 四人の学者を訪ねて	婦人画報社	婦人画報	677	133~142	昭和35年12月	
28	行儀がわるいというけれど	保健同人社	保健同人	15・12	11	昭和35年12月	「けんこうひとこと」。

*「び・い・ぶ・る」『芸術新潮』11・1(新潮社 昭和35年1月)、「グラビア 女流作家の横顔12 由起しげ子・横山美智子・大原富枝」『婦人公論』45・14(中央公論新社 昭和35年12月)に記事有り。

*「職場の娘たち」の第2話以下の副題は次の通り。第2話「ワルイやつ」、第3話「告げぬ恋」、第4話「あらしの男」、第5話「恋の休暇」。

*『集英社のゴールデンブック ピーターパン』(世界名作漫画傑作選② 集英社 昭35年)に「由起しげ子・指導 宮坂栄一・え」と有り。

*「テレビ婦人の時間 作家の横顔 由起しげ子」(昭和35年12月26日放映)出演、脚本有り。

●昭和36年(1961)

1	磐梯高原	有紀書房	高原		49	昭和36年1月	串田孫一編。
2	森の物語	文藝春秋新社	別冊文芸春秋	74	180~193	昭和36年1月	
3	はじめのごあいさつ	中日新聞社	中日新聞			昭和36年1月9日付	
4	メキシコからの年賀状	読売新聞社	読売新聞			昭和36年1月14日付	
5	私の小さい書斎	産業経済新聞社	随筆サンケイ	8・2	8	昭和36年2月	グラビアページ。
6	モデル問題に関する私の意見	中央公論新社	婦人公論	46・2	149~151	昭和36年2月	
7	鈴をつけた女	文藝春秋新社	オール読物	16・3	166~195	昭和36年3月	→昭和36年。
8	沢夫人の貞節	新潮社	小説新潮	15・4	154~179	昭和36年4月	→昭和36年。
9	リポーワさん	毎日新聞社	毎日新聞			昭和36年4月28日付	
10	静かなる崩壊	文化公論社	文学界	15・5	8~35	昭和36年5月	→昭和38年。
11	罪と愛	婦人画報社	婦人画報	683(~691)	135~150	昭和36年5月	同誌691(昭和36年11月)まで連載。→昭和37年。昭和38年3月公開「あの人は今」、松竹、岩下志麻、丹波哲郎出演。ビデオ有り。昭和38年12月2日より2回にわたりポーラ名作劇場第48回「女の画像」としてテレビドラマ化、同日付「読売新聞」に紹介記事有り。
12	売り場にいるムスコ	講談社	群像	16・6	197	昭和36年6月	「近況」。
13	「新しいモラル」以前の問題	中央公論新社	婦人公論	46・7	211~213	昭和36年6月	「特集女性における「危険な関係」人妻の場合」。
14	現代女性の政治感覚について	政治公論社	政治公論	42	66~128	昭和36年7月	大浜英子、大原富枝等と対談。
15	主婦たちは新社会をめざして一友の会大会に際し全国主婦二五人の声をきく	婦人之友社	婦人之友	55・7	22~43	昭和36年7月	柴田徳衛・関島久雄・佐藤チャウ・石原八重子等との座談会。
16	奥津温泉からウラン鉱ブームの人形峠へ	日本旅行協会	旅	35・7	56~57	昭和36年7月	
17	犬を連れた女	講談社	群像	16・8	78~99	昭和36年8月	
18	困った人たち	朝日新聞社	週刊朝日別冊	45	149~157	昭和36年9月	→昭和36年。
19	人の生き死に	新潮社	新潮	58・9	44~45	昭和36年9月	
20	たたかい	文化公論社	文学界	15・9	10~31	昭和36年9月	→昭和38年。
21	榛名湖	有紀書房	湖		81	昭和36年10月	川端康成編。
22	破壊された男	新潮社	小説新潮	15・10	230~260	昭和36年10月	→昭和36年、昭和38年。昭和38年6月23日東芝日曜劇場第342回「父と子」としてテレビドラマ化、JNNにて放映。昭和41年7月1日放映の「近鉄金曜劇場 愛とところのシリーズ 父と子 決定稿」脚本有り。
23	沢夫人の貞節	新潮社				昭和36年11月	単行本化。「沢夫人の貞節」「鈴をつけた女」「困った人たち」「破壊された男」収録。第8回小説新潮賞受賞。
24	危険な告白	新潮社	小説新潮	15・11	24~40	昭和36年11月	
25	スポーツ 水泳	講談社	群像	16・12	125	昭和36年12月	

26	風の中の男					昭和36年12月3日放送	ラジオ劇場「風の中の男」(ニッポン放送)。脚本の原稿、脚本有り。
27	わが小説⑨『赤坂の姉妹』	朝日新聞社	朝日新聞			昭和36年12月7日付	「映画の注文に応じて」。

*「アンケート・私の好きなドライブウェイ」『別冊週刊サンケイ』55(産業経済新聞 昭和36年5月)、「び・い・ふ・る」『芸術新潮』12・9(新潮社 昭和36年9月)に記事有り。

*「職場の娘たち」の第6話以下の副題は次の通り。第6話「夢の魔術師」、第7話「すてきな誕生日」、第8話「結ばれる日まで」、第9話「金色の管」、第10話「美しい芽生え」、第11話「不思議な夜をくれた男」、第12話「東京のひろい空」、第13話「青葉の旅から」、第14話「反逆むすめ」、第15話「朝霧の決闘」、第16話「夢の追跡者」、第17話「幻想の港」。

*昭和36年2月11日制定の朝日町立大谷小学校校歌を作曲。作詞は横山美智子。

*「私の秘密」NHKTV文芸部(昭和36年7月10日放映)出演、脚本有り。

●昭和37年(1962)

1	ある北国の宿の思い	雪華社	新気流	13	160～166	昭和37年1月	
2	小さな結婚	婦人之友社	婦人之友	56・1 (～56・12)	212～219	昭和37年1月	同誌56・12(昭和37年12月)まで毎号連載。→昭和38年。
3	無名の女	新潮社	小説新潮	16・2	248～257	昭和37年2月	→昭和38年。「東芝日曜劇場 無名の女 より 決定稿」脚本有り。
4	帰りみち	文化公論社	文学界	16・2	10～38	昭和37年2月	→昭和38年。
5	婚期 私たちはこんなに結婚したいのに	婦人生活社	婦人生活	16・2	164～170	昭和37年2月	「特別レポート」。「解説、由起しげ子」。
6	寒中みまい状と封筒のエチケットについて 由起しげ子さんのお話	主婦之友社	主婦之友	46・2	325	昭和37年2月	
7	罪と愛	新潮社				昭和37年3月	単行本化。「罪と愛」のみ収録。
8	市民の城	日本城郭協会	大阪城とその周辺		41	昭和37年3月	
9	昏晦	文化公論社	文学界	16・5	10～37	昭和37年5月	→昭和38年。
10	心の散歩道	主婦と生活社	主婦と生活	17・5	106～107	昭和37年5月	
11	日記	悠々会	風景	3・6	30～32	昭和37年6月	
12	やどり木	講談社	群像	17・6	38～59	昭和37年6月	
13	真夜中の顔	新潮社	小説新潮	16・6	180～213	昭和37年6月	→昭和38年。昭和39年8月2日「日本映画名作ドラマ」としてテレビドラマ化、ANNにて放映。
14	女流文学者というものの	講談社	群像	17・8	154～157	昭和37年8月	
15	紙ヒコーキ	新潮社	別冊小説新潮	14・4	23～35	昭和37年10月	
16	二つの旅から	毎日新聞社	毎日新聞			昭和37年10月22日付	7回連載(10月22、23、27、29日、11月1、3、5日)。
17	ロン夫人との再会	中央公論新社	婦人公論	47・12	46～47	昭和37年11月	
18	砂にかいた物語	新潮社	小説新潮	16・12	176～207	昭和37年12月	→昭和38年。
19	心の散歩道	主婦と生活社	主婦と生活	17・14	140～141	昭和37年12月	大原富枝と連名。
20	第九とメサイアと師走と	朝日新聞社	朝日新聞			昭和37年12月27日付	

*「職場の娘たち」の副題、第18話「東京の夜」。

*「文芸首都三十周年記念アンケート」『文芸首都』31・4(文芸首都社 昭和37年4月)に記事有り。

●昭和38年(1963)

1	再会	講談社	群像	18・1	60～84	昭和38年1月	1962年7月1日～8月31日までソ協会推薦の婦人団体とともに訪ソし、パリでマルグリット・ロンに再会したことを小説化。
2	福岡のこと、昔と今と	フジインターナショナルコンサルタント出版部	企業の現代史22 火の国のパイオニア・九州電力	22	157	昭和38年1月	
3	若い恋人たち第1話 偽りの手紙	平凡出版	平凡	19・2 (～19・7)	181～191	昭和38年2月	同誌19・7(昭和38年7月)まで毎号連載。各回の副題は*に記す。

4	冬の樹液	新潮社	小説新潮	17・3	166～198	昭和38年3月	
5	白痴の中に	文化公論社	文学界	17・3	17～66	昭和38年3月	→昭和38年。
6	小さな旅	中央公論社	小説中央公論	4・2	318～340	昭和38年3月	
7	小さな結婚	講談社				昭和38年4月	単行本化。「小さな結婚」のみ収録。
8	女性の歩みによせることば	婦人之友社	婦人之友	57・4	25～35	昭和38年4月	中川善之助、久保田きぬ子との対談。
9	福岡の女—女系分布図5—	中央公論新社	中央公論	78・5	237～242	昭和38年5月	
10	水 雨は降っても水は足りない	中央公論新社	婦人公論	48・6	64～66	昭和38年5月	「特集新都政に望むく怒れる女性の発言2」。
11	捨てる	文化公論社	文学界	17・6	32～51	昭和38年6月	→昭和38年。『現代ホーム百科事典(生活の科学)』10(学習研究社 昭和42年)に再録。
12	めったに会えぬ人	日本経済新聞社	日本経済新聞			昭和38年6月6日付	「交遊抄」。神戸女学院同窓生牧野(旧姓中村)文子との交流について記述。牧野四子吉・文子回想文集編集委員会編集・発行『にどだもれ 回想 牧野四子吉・文子』(昭和63年)に再録。
13	壁の中の飛行	朝日新聞社	文芸朝日	2・7	166～178	昭和38年7月	
14	ソヴェットのお食事	甘辛社	あまカラ	144	15～17	昭和38年8月	昭和37年7月日ソ協会推薦の婦人団体とともに訪ソ。
15	秘めごと	文化公論社	文学界	17・10	70～94	昭和38年10月	
16	犬としつけ	サイエンス社	数理科学	1・4	60～62	昭和38年10月	
17	真夜中の顔	新潮社				昭和38年10月	単行本化。「破壊された男」「無名の女」「真夜中の顔」「砂にかいた物語」収録。
18	やさしい良人	文藝春秋新社				昭和38年12月	単行本化。「やさしい良人」「船の上で」「静かなる崩壊」「たたかい」「帰りみち」「昏晦」「白痴の中に」「捨てる」収録。
19	忘れられない思い出	神戸女学院同窓会	めぐみ	50	11～13	昭和38年12月	
20	話の広場	婦人生活社	婦人生活	17・14	148～151	昭和38年12月	扇谷正造、戸川昌子、荒正人等と連名。

*「若い恋人たち」の第2話以下の副題は次の通り。第2話「ひとりぼっちの散歩」、第3話「愛の暴走」、第4話「美しき誤解」、第5話「最も危険な男」、第6話「愛の突破口」。

●昭和39年(1964)

1	正月がくるたびに	交通協力会	国有鉄道	22・1	23	昭和39年1月	
2	魔の時	講談社	群像	19・2	70～94	昭和39年2月	同題のラジオドラマ有り。昭和38年6月14日NHK名古屋放送劇「女流作家シリーズ2 魔の時」脚本:由起しげ子。
3	喧嘩薔薇	文藝春秋新社	文芸春秋	42・2	312～326	昭和39年2月	
4	おしゃれの目 お古育ちの反逆	文化出版局	装苑	19・2	214～215	昭和39年2月	
5	共稼ぎ妻はよる離婚する	婦人生活社	婦人生活	18・2	180～186	昭和39年2月	「立体レポート」。石垣綾子・北原武夫と連名。
6	新しい収容所	悠々会	風景	5・2	45～47	昭和39年2月	
7	新しい芽 魅せられたる魂	医学書院	保健婦雑誌	20・4	5～7	昭和39年4月	
8	波と炎	主婦之友社	主婦之友	48・5 (～49・7)	258～266	昭和39年5月	同誌49・7(昭和40年7月)まで毎号連載。
9	愛のかげら	文藝春秋新社	ポケット文春	136		昭和39年7月	単行本化。「決闘」「ドブに捨てろ」「波の白」「ある傾斜」「密室の月」「島の男」「姉と妹」「共犯者」「信号無視」「花のない季節」「妻の限界」「生と死の祭典」「接点」「天の火」収録。
10	妻の休暇	新潮社	小説新潮	18・7	92～122	昭和39年7月	昭和39年6月25日30分劇場第12回としてテレビドラマ化、NNNにて放映。
11	看護婦さんへの手紙 現代の職業と人間性	医学書院	看護学雑誌	28・7	9	昭和39年7月	

12	レコードライブラリー 私とレコード(7)パ デレフスキーの思い出	音楽之友社	音楽之友	22・7	204～ 205	昭和39年7月	
13	私の小説作法	毎日新聞社	毎日新聞			昭和39年7月 19日付	
14	危ない夫婦	中央公論新社	婦人公論	49・8	288～ 293	昭和39年8月	
15	危険な芽を大木にし ないで―弟殺し事 件と母親の立場	婦人之友社	婦人之友	58・9	44～46	昭和39年9月	
16	痴漢	講談社	小説現代	2・10	240～ 255	昭和39年10月	
17	そこにいた人たち	文化公論社	文学界	18・11	13～64	昭和39年11月	
18	珍犬「ペキニーズ」 中国へ	毎日新聞社	毎日新聞			昭和39年12月 12日付	

*「朝日新聞」昭和39年5月13日付にNHKラジオ第一「私の音楽アルバム」の番組紹介記事「由起しげ子さんのフランスの思い出」有り。

*「私の広告」『文芸朝日』3・8(朝日新聞社 昭和39年8月)に記事有り。

*昭和39年11月12日JNN放映の「小さい犬のいる家(おかあさん(お母さん))(2)(第262回)」脚本担当。

●昭和40年(1965)

1	おんなの骨	新潮社	別冊小説新 潮	17・1	62～91	昭和40年1月	昭和42年7月16日東芝日曜劇場第553回「おんなの虹」としてテレビドラマ化、JNNにて放映、「東芝日曜劇場おんなの骨より 女の虹」脚本2種有り。
2	中国の人民代表たち	潮書房光人社	丸	18・1	148～ 149	昭和40年1月	昭和39年3月訪中日本作家代表団の一員として中華人民共和国旅行。
3	〈珍犬〉ペキニーズ のお里帰り	日中文化交流 協会	日中文化交 流	80	3	昭和40年1月	
4	幸福な家族	講談社	群像	20・3	72～92	昭和40年3月	
5	《柔らかな肌》《あ 結婚をめぐる 男の浮気のなかの 女たち	映画芸術社	映画芸術	13・4	45～46	昭和40年4月	「特集3 女と男のたたかい」。
6	手記特集 夫が沈 黙するとき 夫たち よ、気宇広大に	中央公論新社	婦人公論	50・4	254～ 255	昭和40年4月	「論評、由起しげ子」。
7	斑鳩の春 カメラ抒 情	学習研究社	暮しの知恵	5・5	109～ 115	昭和40年5月	「文・由起しげ子」。
8	生活の窓	婦人之友社	婦人之友	59・6	26～37	昭和40年6月	石塚寛子、川久保節子、島田陽子等との座談会。聞き手、由起しげ子。
9	日本あちらこちら 小山の九尾寿司	平凡社	太陽	3・6	92	昭和40年6月	
10	湖と岬にひかれる女 心	日本交通社	旅	39・6	78～83	昭和40年6月	「特集初夏の岬・新緑の湖畔」。芦川いつみ、三木澄子、長尾佳子との座談会。
11	罪の座 地位ある男 を籠絡した醜聞の 女という名にあまん じて生きようとする女 心とは	新潮社	小説新潮	19・8	246～ 263	昭和40年8月	
12	傷つける	主婦と生活社	主婦と生活	20・9	346～ 354	昭和40年8月	
13	西瓜					昭和40年8月 21日放送	脚本の原稿、脚本有り。NHKラジオドラマ。
14	中国の粟	講談社	群像	20・10	72～94	昭和40年10月	昭和39年3月訪中日本作家代表団の一員として中華人民共和国旅行をした際に取材。
15	何も起らなかった	新潮社	小説新潮	19・12	134～ 147	昭和40年12月	

●昭和41年(1966)

1	青いマントの女	新潮社	別冊小説新 潮	18・1	277～ 289	昭和41年1月	
2	安房白浜	朝日新聞社	新日本名所 案内	下	5	昭和41年1月	週刊朝日編集部編。
3	山田耕筰先生のこと	悠々会	風景	7・2	24～26	昭和41年2月	

4	壺の中の女	新潮社	小説新潮	20・3	156～ 171	昭和41年3月	
5	シモーヌ・ド・ボー ヴォワール著朝吹登 水子他訳「或る戦 後」	岩波書店	世界	244	234～ 237	昭和41年3月	書評。
6	由利子、人を愛し人 から愛される心を	講談社	婦人倶楽部	47・6	228～ 231	昭和41年5月	
7	山田耕筰氏とパッハ とロン夫人と	音楽之友社	音楽之友	24・6	140～ 143	昭和41年6月	「わが音楽交友録(5)」。
8	ため息のでる美しさ ルービンシュタイン 第一夜をさく	読売新聞社	読売新聞			昭和41年6月 14日付夕刊	
9	団地族における人 間の研究	中央公論新社	婦人公論	51・7	86～91	昭和41年7月	「特集 明日への報告書」。
10	ずいひつ 青森岩 手できいた話	日本民主主義 文学会	民主文学	9・59	100～ 101	昭和41年8月	
11	私は毛沢東を見た	毎日新聞社	サンデー毎日	45年34 号	42～44	昭和41年8月	8月7日号。ルポルタージュ。7月17～19日に北京で開催されたアジア・アフリカ作家緊急会議に参加。
12	中共の整風運動を 現地に見て	産業経済新聞 社	産経新聞			昭和41年8月4 日付夕刊	ルポルタージュ。7月17～19日に北京で開催されたアジア・アフリカ作家緊急会議に参加。
13	華やかな葬列	新潮社	小説新潮	20・9	134～ 157	昭和41年9月	
14	安起さん	講談社	群像	21・10	93～ 105	昭和41年10月	
15	作家の日記	新潮社	小説新潮	20・11	88	昭和41年11月	

*「文芸首都三十五周年記念アンケート」『文芸首都』35・5(文芸首都社 昭和41年5月)に記事有り。

*昭和41年6月19日「もう一つの生活」(由起しげ子原作)が東芝日曜劇場第498回としてテレビドラマ化、JNNにて放映。

*昭和41年7月20日付「読売新聞」朝刊「毛主席は大変元気 揚子江で水泳」に記事有り。

●昭和42年(1967)

1	お目見え泥	新潮社	小説新潮	21・2	256～ 268	昭和42年2月	
2	文芸随想	徳島新聞社	徳島新聞			昭和42年4月7 日付	
3	すてきな若者	読売新聞社	読売新聞			昭和42年4月 23日付朝刊	新聞掲載随筆。祖父母、母、兄弟のことに言及。
4	老いらくの恋 京大 教授夫人が三人の 子を残して老歌人・ 川田順との恋をつら ぬくまで	講談社	ヤングレディ	5・18	120～ 123	昭和42年5月	5月8日号。「実名連載小説 禁じられた恋に生きた女たち」第8回。
5	レコードライブラリー 思い出のレコード 手に入らなかったレ コード	音楽之友社	音楽の友	25・8	187	昭和42年8月	
6	亀井勝一郎先生の こと	私家版	追想亀井勝 一郎		165	昭和42年11月	亀井書彦編。

*「作家 由起しげ子さんとベッキーズ」『愛犬ジャーナル』8・7(新ジャーナル社 昭和42年10月)に記事有り。

●昭和43年(1968)

1	演劇 どれい狩り	中央公論新社	中央公論	83・1・ 964	264～ 265	昭和43年1月	
2	魯迅未亡人許広平 さんの思い出	東京新聞社	東京新聞			昭和43年3月9 日付	
3	ボナール再会	岩波書店	世界	270	312～ 314	昭和43年5月	
4	壊れやすい家庭	婦人生活社	婦人生活	22・7	174～ 183	昭和43年6月	「家庭問題立体特集」。宮本忠雄と連名。
5	ある母と子の軌跡	太平出版社	すばらしい家 庭教育 親と 子のふれあひ のために		241～ 262	昭和43年11月	宮原誠一編。「子どもと家庭教育シリーズ1」。

*「あまカラ終刊によせて」『あまカラ』200(甘辛社 昭和43年4月)に記事有り。

●昭和44年(1969)

1	旅にゆけない日に	日本交通社	旅	43・4	58～59	昭和44年4月	
2	何かを教えられたい という願いを育てて	資生堂	資生堂チェイ ンストア	138	22～23	昭和44年4月	「道ひとすじ④」。
3	古代人の心 お墓と 古鏡	新人物往来社	歴史読本	14・6	94～95	昭和44年6月	
4	夜なべ	中央公論新社	海	1・3・3	10	昭和44年8月	
5	猫ときのこと	筑摩書房	展望	131	14	昭和44年11月	
6	すっかり気に入った 阿武隈山脈にひそ む古い湯治場	日本交通公社	旅	43・11	82～85	昭和44年11月	「浮世を忘れた湯岐・猫啼の湯(本誌特派)」。

*「アジア経済旬報」744(昭和44年1月21日)掲載の「中国で開催する日本工業展覧界の全品展示のため佐藤内閣に要求する声明」に署名。
(ママ)

●年次未詳(「由起しげ子文庫」目録)の印刷物、切抜きより、各五十音順)

1	放送劇 雁の風土 記						脚本、改訂版脚本有り。原作者、由起しげ子。
2	大阪浜寺		読書人報			8月24日	
3	随想	東京タイムズ社	東京タイムズ				
4	住みごころ		新聞				掲載紙不明。